

動物検疫所入札等監視委員会 審議概要

開催日及び場所		平成22年5月21日(金曜日)植物防疫所会議室			
委員		鈴木 満(弁護士) 青柳 義朗(公認会計士) 吉武 雅子(大学講師)			
審議対象期間		平成22年1月1日～平成22年3月31日			
審議対象案件		18件 うち、1者応札案件1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件			
抽出案件		9件 うち、1者応札案件1件 (抽出率50%) (抽出率100%)			
抽出 案件 内 訳	工事	一般競争		2件	
		指名競争	公募型指名競争		
			工事希望型競争		
			その他の指名競争		
		随意契約			
	業務	一般競争			
		指名競争	公募型競争		
			簡易公募型競争		
			その他の指名競争		
		随意契約	公募型プロポーザル		
			簡易公募型プロポーザル		
			標準型プロポーザル		
			その他の随意契約		
	物品・役 務等	一般競争		4件 うち、1者応札案件1件	
		指名競争			
		随意契約(企画競争・公募)			
		随意契約(その他)		3件	
	(特記事項)				

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問、それに対する回答等	競争性を高めるためには、競争者を仕立てる工夫が必要であり、例えば、工事であれば、仕様を十分に説明する。一般役務であれば、業務の内容をできるだけ具体的に記載する。物品であれば、参考機種を複数挙げるなど、入札しやすい環境を作るべきである。	これからの仕様書作成の際に工夫してまいりたい。
	2回目・3回目入札の辞退も談合を見定める指標になるので、辞退をせざるきちんと入札するよう業者を指導すべきである。	今後、指導してまいりたい。
	電話をして、業者に入札参加を促すことは有効であり、業者が参加すればそれは一つの効果である。	電話による方法も検討してまいりたい。
	入札参加業者が固定しないよう、新しく参加する業者を育てる努力をするべきである。	新しい業者の参加を促すよう努力してまいりたい。
委員会による意見の具申又は勧告の内容 [これらに対し部局長が講じた措置]	この委員会も発足後2年を経過した。昨年度と比較して、競争性が高くなった等、改善したという資料を、次回提示すること。	
事務局：動物検疫所総務部会計課		